

アクロポリスの丘の麓から

—ギリシア悲劇への誘い—



人間への眼差し、人間心理への飽くなき追求。

およそ 2400 年前の作品でありながら、色褪せることなく私たちを引きつけるギリシア劇。

時代の風雪に耐え、これまで残ってきた不朽の名作群を紐解きながら、《人間存在をどのようにとらえるか》・《いかにして自らが、より精神的豊かさを携えて、生きるか》をテーマに、ギリシア劇をもっと深く学んでみたいと思い、この勉強会を企画しました。

好評につき、この勉強会も 4 年目を迎えました。初めての方でも入りやすい講座です。

どなた様もふるってご参加ください。

田中孝弥

清流劇場・ギリシア劇勉強会 2020

アクロポリスの丘の麓から ―ギリシア悲劇への誘い―

レクチャーの概要 (全10回 ※1回のみ参加も受け付けております)

第1回 4月 7日(火) 序論：ギリシア悲劇の歴史、形式、劇場

第2回 4月21日(火) アイスキュロス『オ레스ティア』(Ⅰ)

第3回 5月26日(火) アイスキュロス『オ레스ティア』(Ⅱ) 力の正義から法の正義へ

第4回 6月 9日(火) エウリピデス『メデア』― 狂う

第5回 6月23日(火) エウリピデス『ヒッポリュトス』(改作)― 乱れる

第6回 7月 7日(火) エウリピデス『ヘレネ』(異伝を使用)― 追う

第7回 7月21日(火) エウリピデス『エレクトラ』、『オ레스テス』― 抜ける

第8回 11月10日(火) ソポクレス『オイディプス王』― 捜す

第9回 11月24日(火) ソポクレス『アンティゴネ』― 突っ張る

第10回 12月 8日(火) ソポクレス『トラキスの女たち』― 迷う

これまでさまざまな角度からギリシア悲劇、喜劇を考察してきましたが、今年度の講義では原点に立ち返って、まずギリシア劇の基本的知識を確認します。次いで「ギリシア悲劇は人間の劇である」ことを再認識したうえで、そこに展開されるさまざまな人間模様を 21 世紀に生きるわれわれの視点で改めて捉え直し、問題化していきたいと思います。古典を過大視しない、さりとて現代的視点にこだわるあまり過度に日常性を求めすぎることには控える――難しいことですが、いずれにせよよい意味で古典を楽しみたいと思っています。

丹下和彦

■ 講師：丹下和彦 (大阪市立大学名誉教授・古代ギリシア文学者)

■ 時間：19時～21時30分 (途中休憩あり)

■ 料金：1回 1,200円

■ 対象：演劇経験不問。ギリシア劇を学びたい方ならどなたでも歓迎いたします。

■ お申し込み方法：参加ご希望の方は、①お名前②ご連絡先(電話番号・メールアドレス)

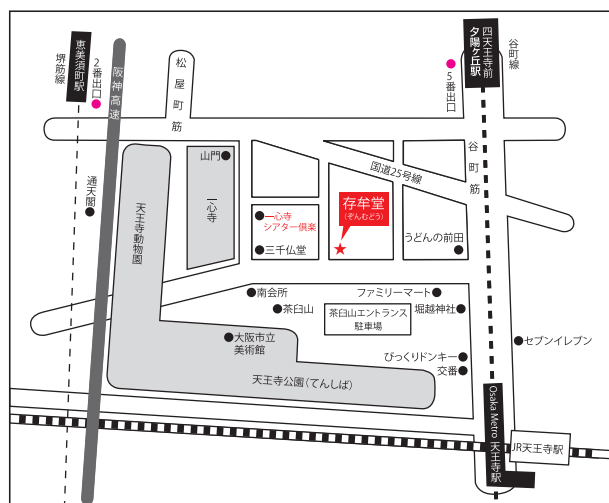
③参加希望日を、下記、劇団メール宛にお知らせください。

＊お申し込みされた方には確認のため、info@seiryu-theater.jp より返信させていただきますので、

事前にこちらのメールアドレスが受信できるように設定しておいてください。

■ お申し込み締め切り日：各回実施の2日前

■ お問い合わせ・お申し込み 清流劇場 e-mail：info@seiryu-theater.jp web：https://seiryu-theater.jp



■ 会場：一心思アター倶楽 (ぞんむどう)

〒543-0062 大阪府大阪市天王寺区逢坂 2-4-13

■ 会場のお問い合わせ：

一心思アター倶楽：06-6774-4002

＊各線「天王寺駅」、Osaka Metro谷町線「四天王寺前夕陽ヶ丘駅」
堺筋線「恵美須町駅」より、徒歩約10分

＊お客様用駐車場はございません。

お車で越しの場合は近くのコインパーキングをご利用ください。

■ デッサン・デザイン：政野裕果

■ 企画・制作：一般社団法人清流劇場

■ 協力：一心思アター倶楽